

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【公開番号】特開2007-241289(P2007-241289A)

【公開日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-036

【出願番号】特願2007-58290(P2007-58290)

【国際特許分類】

G 09 F 9/30 (2006.01)

G 02 F 1/1343 (2006.01)

G 02 F 1/1368 (2006.01)

【F I】

G 09 F 9/30 3 3 0 Z

G 02 F 1/1343

G 02 F 1/1368

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月29日(2010.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板上に形成される信号ラインと、
前記信号ラインと電気絶縁状態で交差して前記基板上に形成されるリペアラインと、
前記信号ラインと前記リペアラインとが交差する前記基板の第1領域と絶縁されるよう
に重なる第1リダンダンシ導電パターンと、
を含むことを特徴とする表示装置。

【請求項2】

前記第1リダンダンシ導電パターンが電気的にフローティングしていることを特徴とする
請求項1に記載の表示装置。

【請求項3】

前記信号ラインのリペア時に、前記信号ラインと前記リペアラインが前記第1領域で前
記第1リダンダンシ導電パターンに電気的に接続されることを特徴とする請求項1に記載
の表示装置。

【請求項4】

一側部と前記信号ラインとが前記基板の前記第1領域とは異なる第2領域で絶縁される
ように重なり、他側部と前記リペアラインとが前記基板の前記第1領域とは異なる第3領域
で絶縁されるように重なる第2リダンダンシ導電パターンをさらに含むことを特徴とする
請求項1に記載の表示装置。

【請求項5】

前記第2リダンダンシ導電パターンが前記第1リダンダンシ導電パターンと離間、または
一体化することを特徴とする請求項4に記載の表示装置。

【請求項6】

前記信号ラインのリペア時に、前記信号ラインと前記リペアラインとが前記第1領域で
前記第1リダンダンシ導電パターンと共に電気的に接続され、

前記信号ラインと前記第2リダンダンシパターンとが前記第2領域で電気的に接続され

、前記リペアラインと前記第2リダンダンシパターンとが第3領域で電気的に接続されることを特徴とする請求項4に記載の表示装置。

【請求項7】

前記信号ラインがコンタクトホールを介して前記第2リダンダンシ導電パターンに電気的に接続されることを特徴とする請求項4に記載の表示装置。

【請求項8】

前記信号ラインのリペア時に、前記信号ラインと前記リペアラインとが前記第1領域で第1リダンダンシ導電パターンと電気的に接続され、

前記信号ラインが前記第2領域で前記第2リダンダンシ導電パターンと電気的に接続されることを特徴とする請求項7に記載の表示装置。

【請求項9】

前記リペアラインがコンタクトホールを介して前記第2リダンダンシ導電パターンと電気的に接続されることを特徴とする請求項4に記載の表示装置。

【請求項10】

前記信号ラインのリペア時に、前記信号ラインと前記リペアラインが前記第1領域で前記第1リダンダンシ導電パターンと電気的に接続され、前記リペアラインが前記第3領域で前記第2リダンダンシ導電パターンと電気的に接続されることを特徴とする請求項9に記載の表示装置。